

地域と和やかに交流

延岡

名水小で流しそうめん大会

地域の人たちも保護者も児童の交流を目的にした初の「流しそうめん大会」が7月31日、延岡市の名水小学校（島田校長、11人）であった。地域住民や同校の教職員0.8を総勢30人以上が参加。そ

うめん流しを通して交流した名水小児童（提供写真）



うめん流しを通して交流した。流しそうめんには、繰り返し使えるように布ではなく、学校技術員が雨どいを加工して製作したものを使用。大会は初め「始球式」ならぬ「そうめん流し式」を行い、最初に流したそうめんを誕

生目の近い児童が受け止めると大会がスタート。児童も参加した地域の人たちは教職員の流すそうめんを楽しくすすくい、おいそ

うにすまっだ。そうめん流しが落ち着くと、ゼリやマスカットなどのデザートも流れて児童は大喜び。スリカ割りにも挑戦し、大いに盛り上がった。初開催に「なかなか来づらいと感じられることが多い学校に昼食に足を運んだり、顔見知りになつたりする機会になればと思った」と島田校長。普段から地域の人たちと交流する機会が多いものの、一緒にそうめんを食べて交流したことで、児童の成長を感じた地域の人たちから、喜びの声も多かったという。

「おにぎりを配ったり、世間話をしたりと

交流できた」と16年生の神田慎登さんは「初めてで分からないこともあったが、楽しかったし、うれしかった。スリカ割りも久しぶりにできて、体験になった」と満足そうだった。



スリカ割りも大盛り上がり（同）

令和5年8月12日 土曜日
2023年 (第18566号) 日刊

新聞定価 100円
月刊 1000円
Dダイナミック新聞社